

SKC

高校生ミーティング

* これまでを乗り越えて *

2015. 10. 18
久保田



月 1 回

- 休息・・・おやつを持ち寄り、交流
- 話題・・・近況報告（・修学旅行 ・文化祭 ・体育祭 ・定期試験 ・職場体験 etc.）、挑戦したいこと、アドバイス、意見交換（スマホ、小遣い、欲しいグッズ、世の中の出来事、etc.）
将来を考える・希望 → 進学、職業？
- 自分のことを話す、人の意見や経験を聞く、分かる個性はそれまでよりもはっきりしてくる、豊かな想像力、かみ合う話題
- 彼・彼女らのタイプ

……中学生学習教室が発端……

中学生から高校生への変化

- 中学校 卒業期(高校受験)を経て 高校受験の厳しさ、苦しさ、キッズの仲間の大切さを経験して、乗り越えてきたものがある
自分を理解すること、親の支え、苦労も少しわかって、でも
親には相談することではない、ことも話す・・・
- 高校生：
思春期から青年期を生きる！

思春期危機

- 個人によって異なる 経験する危機
- 大人の言うとおりににはならない、出来ない
- 自分の課題への挑戦

高校生の姿

- 自分を肯定的に評価し、弱いところも受け止める
- 相変わらず文字を書くことは苦手、でも小論文には挑戦する
- 苦手を隠さない
- キッズで勉強してきた共通性、自分をかくさなくていい、ありのままに

自分自身を表現する

	良いところ	弱いところ
高校3年	前より、勉強するようになった	苦しい:何かしら考える
高校2年	明るい、話題豊富、漢字を読むのは得意、友達が多い、日本史が好き、好奇心旺盛、好きなことの記憶は良い方、あきらめがわるい	勉強嫌い、漢字を書くのが苦手、苦手に思う人が多い、特にクラスの野球部員は授業中うるさくて嫌い、人前に立つのが好きでない、忘れっぽい
高校2年	まじめ、友達が多い、授業に集中できる、人の気持ちがわかる、提出物をしっかりと出す、優しい	人に自分から話しかけられない、数学ができない、体育が苦手、人に流されやすい、すぐにあきらめることが多い
高校1年	興味があることは深いところまで調べる	興味がないことは調べたりしない

くみとれること

- 自分を知り、生活をしている側面（個性化）と、家族、仲間、学校、社会の一員として他者と協調・協力して生きる高校生の姿
- 自分と他者の関係を肯定的・否定的面も含めてうまく捉え、青年期の課題を乗り越えようとする
- 学び方に個性が表れる

高校生で「バケル」ことの関係？

- 中学生との違い：キッズは、中学生まではゆっくり子どものペースで、やりたいことを中心に、したくないことはしなくてよい
- 目標を持つ
- 目標に向かって、しんどくても頑張る
- 仲間の意味
- ミーティングには、必ず参加する（自分の要求として）
- 自己認識が出来る
- 人の話を受け入れる、それと関連させて自分の経験が話せる
- 主体の内的状況と環境の関係は「バケル」要素を子どもの中につくりだしていく？

高校生は

- 目標を持つ
- 目標に向かって、しんどくても頑張る
- 仲間の意味
- ミーティングには、必ず参加する（自分の要求として）
- 自己認識が出来る
- 人の話を受け入れる、それと関連させて自分の経験が話せる